



PROJECT PARTNERS



bauhaus
kooperation
berlin
dessau
weimar



bauhaus imaginista : Corresponding With

「文化圏を超えた交流

——20世紀のインド・日本・ドイツにおける美術・デザイン教育をめぐって

国内外のアーティスト、デザイナー、研究者によるプレゼンテーション、パフォーマンスとディスカッション

場所：ゲーテ・インスティトゥート東京、ホール

日時：2018年8月5日 9:00 – 17:30

お申込み（メール）：info-tokyo@goethe.de

ホームページ：www.goethe.de/tokyo

この国際的かつ学際的なシンポジウムは、京都国立近代美術館で開催される展覧会「バウハウスへの応答」で提示される様々な考え方を、より明らかにしようと企画されました。その際、シンポジウム登壇者たちによる短い発表や議論に加え、アーティストによるプレゼンテーションやパフォーマンスさらに映像上映を、アーティスティック・インターヴェンションとしてプログラムに組み込み、全体として実験的な枠組みを用意することにしました。

展覧会「バウハウスへの応答」は、バウハウスの教育方針に対し、ほぼ同時期ではあるものの異なる関係性を、築いたインドと日本——すなわちインドのシャンティニケタンに創設された美術学校カラ・巴巴ナ（1919～現在）と日本で建築家・川喜田煉七郎が東京に設立した生活構成研究所（のちの新建築工芸学院）（1931～36年）——についての議論を発展させることを目的としています。

シンポジウムへの参加は、第二次世界大戦前後（1930年代～1950年代）からその後、現在に至るまでの日本とインドにおけるバウハウスの影響を、より一層明確に理解することに繋がるでしょう。シンポジウム登壇者たちは、理論的・歴史的研究に基づいた意見交換や、自らの経験や作品に関する考察、さらには芸術的プレゼンテーションやパフォーマンスという形で自らの実践を紹介するなど、様々な形で発表を行います。本シンポジウムは、バウハウス協会ベルリン・デッサウ・ヴァイマル、ゲーテ・インスティトゥート、世界文化の家が「バウハウス100周年」を記念して行う一連の展覧会・イベントの一環として、ゲーテ・インスティトゥート東京の主催により開催されます。

FUNDED BY



LOCAL PARTNER





bauhaus
imaginista

PROJECT PARTNERS



bauhaus
kooperation
berlin
dessau
weimar



また3名のアーティスト——ルカ・フライ（ヴィジュアル・アート）、Kyoka（サウンド・アート）、白井剛（ダンス）——が、 Bauhaus のコンセプトや形式そして実践と自身の関わりを踏まえて、本イベントのためのオリジナル作品を制作し発表します。

本イベントのモデレーターは、美術史家・キュレーターのヘレナ・チャブコヴァーと建築家の坂牛卓が務めます。

bauhaus imaginista は、 Bauhaus 協会ベルリン・デッサウ・ヴァイマル、ゲーテ・インスティゥート、世界文化の家による共同プロジェクトです。 Bauhaus 設立 100 周年を記念するこの研究プロジェクトは、さまざまな展覧会、ワークショップ、シンポジウムを開催します。本共同プロジェクトは、ゲーテ・インスティゥートが持つ国際的視野のもとにさらなる充実を図り、世界文化の家で行われる「 100 Years of Now in Berlin 」プロジェクトにおいても、その重要な一端を担うことになります。

bauhaus imaginista は、ドイツ連邦首相府文化・メディア担当ドイツ連邦文化財団、ドイツ連邦外務省の助成金を受けて可能となりました。ドイツ国外からは、中国、ニューデリー、ラゴス、モスクワ、ニューヨーク、ラバト、サンパウロ、東京のゲーテ・インスティテュート、および *Le Cube – independent art room* (ラバト) ほか、さまざまな団体がパートナーとなっています。また、 **bauhaus imaginista** は、 China Design Museum / China Academy of Art (杭州) 、独立行政法人国立美術館 / 京都国立近代美術館、 Garage Museum of Contemporary Art (モスクワ) 、 SESC São Paulo の協力により実現しました。

www.bauhaus-imaginista.org (ニュースレターをご希望の方はこちらから)

www.bauhaus100.de

#bauhausimaginista

#bauhaus100

FUNDED BY



LOCAL PARTNER





bauhaus



imaginista

PROJECT PARTNERS



bauhaus
kooperation
berlin
dessau
weimar



プログラム

8:30 開場

9:00 – 9:45 ごあいさつとプレゼンテーション

ごあいさつ：

ペーター・アンダース、ライナー・ハウスヴィルト、クラウディア・ペレン

京都で開催中の「バウハウスへの応答」展に関するプレゼンテーション：

マリオン・フォン・オステン、グラント・ワトソン (*bauhaus imaginista* アーティスティック・ディレクター／キュレーター)

9:45 - 10:45 汎アジア主義下の交流

アーティストとキュレーターが登壇者として、インドと日本におけるバウハウス教育の汎アジア主義的コンテクストについて議論します。この議論では、非ヨーロッパ文化圏におけるバウハウスへの応答と関連性に焦点をあてます。

登壇者：梅宮弘光、池田祐子、本橋仁、コーチョ・エシュン、アンジャリカ・サーバー、パルタ・ミッタ、ナターシャ・ギンワラ、アンシュマン・ダスグプタ

10:45 - 11:00 休憩

11:00 – 12:30 20世紀初めにおける日独間の応答

戦前の日本におけるバウハウス受容史を専門とする研究者たちが 5 分ほどの短いプレゼンテーションを行い、背景となるコンテクストを説明します。プレゼンテーションの後、バウハウスの理念と、その第二次世界大戦前後の日本のデザイン界への影響について、山脇巖・道子夫妻、川喜田煉七郎、水谷武彦の 4 名のデザイナーに着目して議論します。

発表者：梅宮弘光、金子宣正、高木毬子、山野てるひ、奥山健二

FUNDED BY



LOCAL PARTNER





PROJECT PARTNERS



bauhaus
kooperation
berlin
dessau
weimar



[アーティスティック・インターヴェンション：ルカ・フライ]

続いて、アーティストのルカ・フライが、 Bauhausを主題にしたプレゼンテーションを行い、「 Bauhausへの応答」展のために制作した作品を紹介します。

12:30 - 12:45 アーティスティック・インターヴェンション：Kyoka

Kyoka によるサウンド・インсталレーション「Score × Bauhaus」

ハウスデザイン・制作：坂牛卓（建築家）、甲津多聞

12:45 - 14:00 昼休憩

14:00-15:30 日本における Bauhaus——戦後の展開

午後のラウンドテーブルでは、政治情勢や社会が大きく変化した戦後の日本における Bauhaus受容を取り上げ、午前中の議論を発展させます。発表者たちが、 Bauhausの教育理念に直接触れた経験や、水谷武彦や桑沢洋子など本イベントが注目するデザイナーたちとの出会いについて話し、コメンテーターたちと意見交換を行います。

発表者：山野てるひ、奥山健二、奥村 鞍正

コメンテーター：梅宮弘光、金子宜正、八代克彦、青山眞、クラウディア・ペレン

[アーティスティック・インターヴェンション：白井剛 14:45 – 15:00]

白井剛によるパフォーマンス「スプーンに聴く - 人間工学の反転 -」

途中、ダンサーの白井剛が、本イベントの特別委嘱により制作した、 Bauhausから着想したダンス作品のパフォーマンスを行います。

15:45 - 17:00 新しい Bauhaus像——ステレオタイプを超えて

最後のパネルディスカッションでは、最近の日本において Bauhausの理念がどのような展開を遂げて

FUNDED BY



LOCAL PARTNER





PROJECT PARTNERS



bauhaus
kooperation
berlin
dessau
weimar



いるかについて議論し、デザイナーや教育者が今日的課題とみなす変容やインスピレーションについて考えます。ここでは、スピリチュアルかつラディカル、さらにはクィアにいたる様々な考え方を含んでいた初期 Bauhaus 以降の多様な事例をたどり、機能的でシンプルであることを標榜した戦後アメリカにおける Bauhaus・スタイルとの比較を試みます。

発表者：青山眞、奥村 鞏正

コメンテーター：奥山健二、八代 克彦、ナターシャ・ギンワラ

17:00 – 17:30 オープン・ディスカッションとパフォーマンス

発表者とコメンテーターによる上での議論に続き、会場参加者を交えてのディスカッションを行います。最後に Kyoka と白井剛によるパフォーマンスを行います。

最終パフォーマンス——白井と Kyoka による即興

17:30 閉会

FUNDED BY



LOCAL PARTNER





PROJECT PARTNERS



bauhaus
kooperation
berlin
dessau
weimar



登壇者（50 音順）

ペーター・アンダース（ゲーテ・インスティトゥート東京・所長）
 青山 真（桑沢デザイン研究所・副所長）
 梅宮弘光（神戸大学大学院・教授、"bauhaus imaginista: Corresponding With"キュレトリアル・アドバイザー）
 奥村鞆正（アートディレクター、グラフィックデザイナー、女子美術大学・客員教授）
 奥山健二（都市デザイナー、一級建築士、名古屋市立大学・名誉教授）
 池田祐子（国立西洋美術館・主任研究員、"bauhaus imaginista: Corresponding With"キュレーター）
 コージョ・エシュン（著述家、映像作家、オトリス・グループ、"bauhaus imaginista: Corresponding With" コミッショナ・アーティスト）
 金子宜正（高知大学・教授）
 Kyoka（サウンド・アーティスト）
 ナターシャ・ギンワラ（キュレーター、著述家）
 アンジャリカ・サーヴァー（映像作家、オトリス・グループ、"bauhaus imaginista: Corresponding With" コミッショナ・アーティスト）
 坂牛 卓（建築家、東京理科大学・教授）
 白井 剛（振付家、演出家、ダンサー）
 高木毬子（タイポグラフ、本の制作者／デザイナー、大学教員）
 アンシュマン・ダスグプタ（キュレーター、美術史家、ヴィスピ・バラティ大学・准教授、"bauhaus imaginista: Corresponding With"キュレトリアル・リサーチャー）
 ヘレナ・チャプロコヴァー（美術史家、早稲田大学助教、"bauhaus imaginista: Corresponding With" キュレトリアル・リサーチャー）
 マリオン・フォン・オステン（アーティスト、著述家、"bauhaus imaginista" アーティスティック・ディレクター／キュレーター）
 ルカ・フライ（ヴィジュアル・アーティスト、デンマーク王立美術院助教授、"bauhaus imaginista: Corresponding With" コミッショナ・アーティスト）
 ライナー・ハウスヴィルト（ゲーテ・インスティトゥート・ミュンヘン、美術部長）
 クラウディア・ペレン（パウハウス協会デッサウ 会長）
 パルタ・ミッター（サセックス大学名誉教授、"bauhaus imaginista: Corresponding With" キュレトリアル・アドバイザー）

FUNDED BY



LOCAL PARTNER





bauhaus

imaginista

PROJECT PARTNERS



GOETHE
INSTITUT

bauhaus
kooperation
berlin
dessau
weimar



Haus der Kulturen der Welt

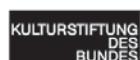
本橋仁（京都国立近代美術館 特定研究員、“bauhaus imaginista: Corresponding With”アシスタント・キュレーター）

八代 克彦（ものつくり大学 技能工芸部長・教授）

山野てるひ（京都女子大学教授）

グラント・ワトソン（美術研究、“bauhaus imaginista”アーティスティック・ディレクター／キュレーター）

FUNDED BY



LOCAL PARTNER

